



まつぼっくりで遊ぼう



まつぼっくりはマツの木につく木の実です。種を守って育てる家のような役割をしています。種はまつぼっくりのかさのすき間にはさまっています。



実験してみよう



◎まつぼっくりを一日から二日間、水を入れた容器の中に入れておくとうなるでしょうか。

- ①なにも変わらない ②かさが閉じてしまう

◎今度は、まつぼっくりを水から出し、日が当たる場所に一日から二日間出しておきましょう。さて、どうなるでしょうか。

- ①かさが開く ②なにも変わらない
～答えは実験をしてたしかめてみましょう～

◎この実験から「まつぼっくりという家」の種を守るための役割を考えてみましょう。

ヒント：「種はぬれるとくさってしまうよ」



あそんでみよう



ふしぎだな

水につけたまつぼっくりを、透明な口がせまいビンに押し込んで入れてみましょう。日が当たる場所に何日か置くと、まつぼっくりはどうなっているでしょうか。まるで手品のようなことが起こります。ふしぎですね。

かざりを作ろう

まつぼっくりのすき間にポンポンをはさんで部屋にかざりましょう。まつぼっくりのすき間に木工用ボンドをつけてからはさんでもいいですよ。

あそびを作り出そう

まつぼっくりでどんなあそびができるでしょうか？楽しいあそびを考え出してくださいね。

【保護者のかたへ】

小さな子どもたちには、自然の物をさわったり、転がして音を聞いたり、においをかいだり、よく見たりする五感の刺激が脳の発達にいいと言われています。

監修：こそだちきょうしつさといも園

《お問合せ》046-259-7401

公式ホームページ：<https://asobi.satoimo-en.info/> →

